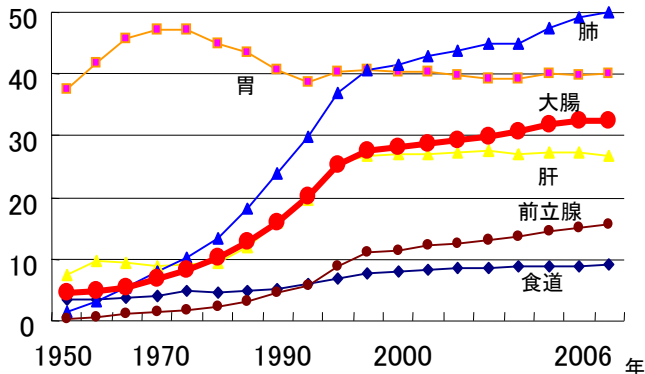


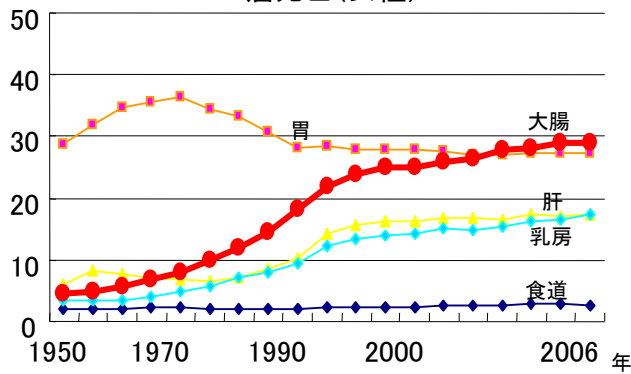
## 大腸内視鏡が有用な場合

日本の大腸がん患者は増加傾向で、**女性では大腸がん死亡が第1位**です。現在、2日法の便潜血検査で検診がおこなわれていますが、これが1回でも陽性的場合、大腸内視鏡検査が必要です。「**1回が陰性だからまだ平気**」ではなく「**1回でも陽性なら何かある**」と考えます。その他、便通異常(便秘や下痢)、腹部膨満(おなかが張る)、腹痛、血便など症状のある場合、内視鏡検査をオススメします。大腸がんの多くはポリープから徐々に進行し、数年で大きながんに成長します。早期の場合自覚症状が乏しいため、症状がなくても、**40歳を迎えたら定期的**に大腸がん検診を受けることが大切です。

癌死亡(男性)



癌死亡(女性)

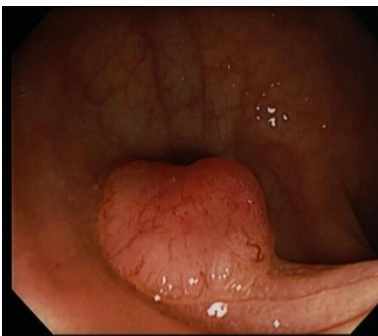


厚生労働省ホームページ H18人口動態調査より改変

## 大腸内視鏡は苦しい??

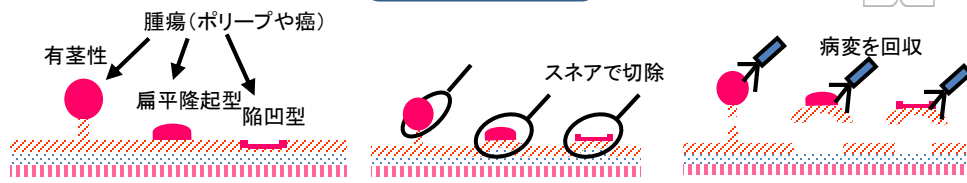
大腸内視鏡検査は“苦痛の大きな検査”というイメージがありましたが、最近では内視鏡スコープの改良、挿入方の工夫によって、通検査自体はさほど大きな苦痛を伴わないのが一般的です。検査時間は通常15分から30分程度ですが、病気の大きさや数、種類によって異なります。ポリープや腫瘍が発見された場合、基本的に2cm以下であれば、たとえ癌であっても当日に内視鏡的に切除し治療が可能です。大きな病変の場合、組織の一部を採取し、その後の治療方針を決定します。

増加している女性の  
大腸癌を減らすため、当院  
では女性医師育成にも力  
をいれています。大腸検査  
担当医師の性別の  
ご希望も承ります。  
恥ずかしがらずに検査  
を受けましょう!



早期大腸がん

内視鏡による  
治療(EMR)



錠剤もあります

大腸内視鏡の検査前には特殊な下剤をのんで腸の中を空っぽにする必要があります。事前に診察の上、担当医から検査や治療の説明を聞いていただき、改めて大腸内視鏡検査のために受診が必要です。検査のこと、検査の予約について、何かありましたらお気軽に下記までご連絡ください。

**出雲市立総合医療センター 内科外来**  
**電話 0853-63-5111**